

多面的機能支払交付金の資源向上活動（長寿命化）実施のポイント

関東農政局農地整備課

資源向上活動（長寿命化）を行うにあたっての主な注意事項をまとめました。参考にしてください。



【安全対策】

- ① 工事中の安全対策として、作業中や監督の際にはヘルメットを被りましょう。
- ② バックホーで資材を吊る場合は、クレーン装置（フック）付きの機種で実施しましょう。また、吊るときは2点吊りとしましょう。
- ③ 熱中症に注意し、こまめな水分・塩分補給と休憩をとらましょう。
- ④ 組織の構成員自らが工事を行うときは、作業中の事故や怪我に備えて保険に加入しましょう。
- ⑤ 「多面的機能支払交付金 共同活動の安全のしおり」
もしっかり読んでください。

クレーン装置付

2点吊り



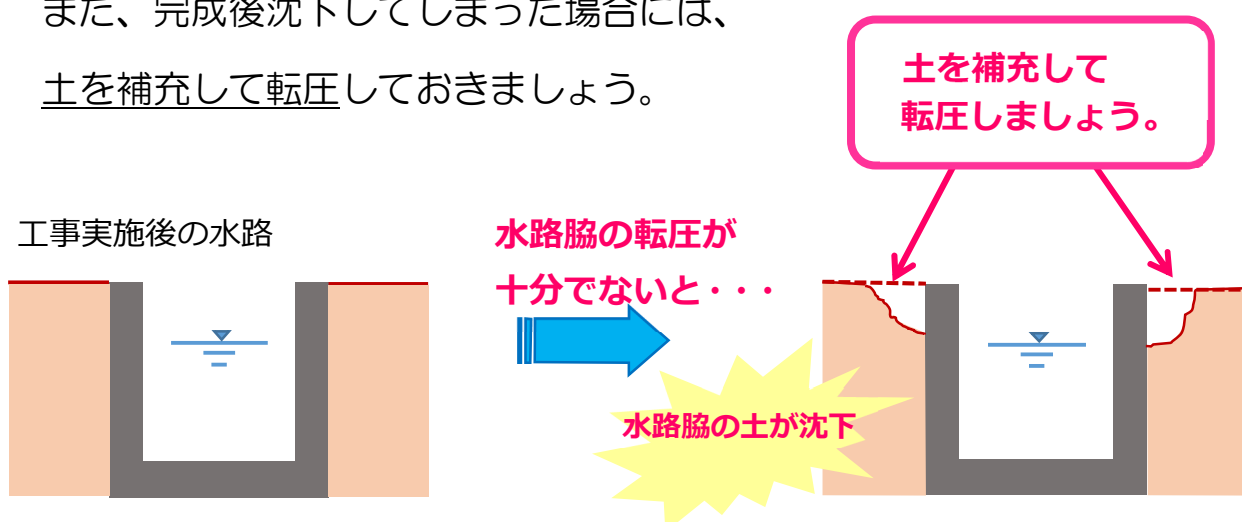
【契約関係】

- ⑥ 工事を建設会社に外注する場合は、見積（3社以上が望ましい）をとりましょう。また、見積依頼の際は、条件（工事の数量や延長、使用材料、制約事項等）を詳細に伝えましょう。なお、地域の積算基準等もあるので市町村や土地改良区等へ相談し、地域の積算基準等を参考にしましょう。
- ⑦ 工事を建設会社に外注する場合は、契約書（変更も含む）と仕様書、図面を作成して、施設の延長・面積・規格・施工方法を明らかにしておきましょう。工事が完成したら「完成届」「納品書」「請求書」を提出してもらいましょう。
- また、工事の完成検査を実施するときは、目視だけではなく、延長や面積などを計測し、「検査調書」を作成しましょう。
- ⑧ 二次製品（フリュームなど）や資材（コンクリートなど）を施工に用いた場合には、その材料がどんなものなのか（規格・素材・メーカーなど）を示す資料を残すようにしましょう。

【施工関係】

- ⑨ 水路の脇などは、沈下しないよう十分転圧しましょう。

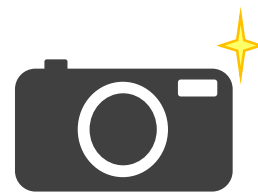
また、完成後沈下してしまった場合には、土を補充して転圧しておきましょう。



- ⑩ 工事中は、施工状況の写真を撮っておきましょう。

なお、写真は時系列順に、鮮明なものを残すようにします。

また、そのときの作業内容（二次製品布設、など）が書かれていると、見返すときに役立ちます。



【管理関係】

- ⑪ 工事完成後は、「出来形図」を作成しましょう。

工作物の所在、数量（水路の延長や舗装の面積など）、規格などがわかる図面を作成しておきましょう。

- ⑫ 取得した財産がある場合は、財産管理台帳を作成し適切に管理しましょう。

また、市町村等の施設に係る更新工事等により財産を取得した場合は、市町村等に対して譲渡するなどの手続きを行いましょう（手続きの詳細や、実施すべき時期については、多面的機能支払交付金を担当する自治体の方などに確認を取るようにしてください）。

- ⑬ 工事書類は、直接工事をした人以外も分かるよう、丁寧にまとめるようにしてください。



最後に・・・

万が一事故が起きた場合は「市町村に速やかに報告」をしてください。

※虫（蜂）に刺された、転んで膝を擦り剥いたなども報告の対象です